

異常があれば
ご使用中止!

発煙・発火の恐れがあります。
すぐに電源プラグを抜いて
ください。再使用の際には、
必ず販売店にご相談ください。

「あれ、おかしい」とおもったら、 ご使用前に必ず点検してください。

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

長年ご使用の扇風機は
よく点検をお願いします。

ご注意ポイント

<p>★スイッチを入れてもファンが回らない。</p>	<p>★ファンが回っても異常に回転が遅かったり不規則。</p>	<p>ご使用になる前に、ファン(羽根)やガードはしっかり取り付けられているか、またガードが変形してファン(羽根)にあたっていないかチェックしてください。</p>	<p>電源コードが折れ曲がったり破損していないか、時々チェックしてください。</p>
<p>★回転するときに異常な音がする。</p>	<p>★モーター部分が異常に熱かったり、コゲくさいにおいがする。</p>	<p>市販のネットを使う場合は、たるみがでないようにしっかりと取付けてください。</p>	<p>No! 運転中はガードの中へ手や物などを絶対に入れないでください。特に小さなお子さまにはご注意ください。</p> <p>運転中のご注意</p>

自己
点検

扇風機を長くお使い頂くための、

<p>お手入れ方法</p> <p>必ず電源プラグを抜いてからはじめましょう。</p>	<p>① 電源スイッチを切り、電源プラグを抜きます。</p>	<p>保管方法</p> <p>収納は湿気の少ない所にしましょう。</p>	<p>① サビ防止のために、モーターシャフトの汚れを取り、油(ミシン油)をうすく塗ります。</p>
<p>② スライドパイプを一番上まで伸ばします。</p> <p>※お手入れ中に「高さ調節装置」を操作しないでください。スライドパイプが急に伸びることがあり危険です。</p>	<p>③ ガード、ファン(羽根)をはずします。はずしたガード、ファン(羽根)は水洗いし、しっかり乾かしてください。また、モーター内部のホコリは掃除機で吸い取ります。</p> <p>※お手入れの際ペンジン、アルコール、みがき粉などは使用しないでください。キズ、変形、ヒビ割れの原因になることがあります。</p>	<p>② スライドパイプを一番下まで押し下げ、確実に固定します。</p>	<p>③ ポリ袋やビニールカバーをかぶせてから包装箱におさめます。おさめ方は包装箱などの説明書きをご覧ください。箱を閉じ、湿気の少ない所に保管します。</p>

各社のカタログ、取扱説明書にもご使用上の注意やお手入れ方法・点検方法などが記載されています。